

## 令和6年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議 議事概要

- 1 日 時 令和6年11月6日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 林業アカデミーふくしま講義室(県林業研究センター敷地内)
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

### 4 結 果

(司会進行：森林計画課 渡部主任主査)

○委員委嘱：(新任となる福島慶太郎委員に委嘱状交付。)

### ○挨拶 農林水産部森林林業担当次長 平野尚巳

県では、「実践力を有し安全に現場作業を行える人材」及び「地域の森林経営管理を担うことができる人材」を育成するため、皆様の御協力のもと、研修運営を進めており、長期研修においては、令和5年度研修生14名が県内の林業事業体へ就業した。

また、令和6年度研修生が新たに14名入講し、幅広い知識の習得や各種資格の取得、インターンシップでの体験就業に意欲的に取り組んでいる。

短期研修においては、市町村林務担当者や林業従事者等を対象として、森林・林業の基礎知識や業務で必要な実務、森林施業の技術力向上に向けた各講座を開催している。

加えて、9月にオーストリアで開催された「第35回世界伐木チャンピオンシップ」では、令和5年度研修生の武藤(むとう)唯(ゆい)さんが、レディースクラス個人総合で3位入賞を果たす輝かしい活躍が見られるなど、林業アカデミーふくしま研修生への期待がますます高まっている。

本日は、今年度上半期における、就業前長期研修、短期研修の実績や、令和七年度研修生の募集に向けた取組状況、今後の研修計画等が議題となっており、委員の皆様から忌憚のない御意見や御助言を頂けますようお願い申し上げます。

○委員自己紹介：(新任となる福島慶太郎委員より自己紹介。)

○議事（議事進行：藤野座長）

議題（１）令和６年度研修の上半期の運営状況と令和７年度研修計画（案）

【事務局】

（資料１～２に基づき説明）

【委員の意見】

〈小松委員〉

短期研修の実績（資料 1-4）について、定員に対して受講者が少ないものがある。No. 2 森林整備事業の実務については、開催日が５月１０日となっており、連休明けという日程が影響しているのではないかと。

また、No. 7 路網と作業システムについては、７月２４日から２６日と夏休みの時期であり時期は適切かと思うが、３日間という日程が影響しているのではないかと。

《事務局》

短期研修については、昨年度までの参加者アンケートを踏まえ、参加しやすい上半期に集中させた。その結果、過密日程になった面は否めない。

No. 2 森林整備事業の実務については、連休明けという日程の設定が影響しているか、アンケート等を分析して、今後の日程設定につなげたい。

No. 7 路網と作業システムについては、３日間は長いというアンケート結果も得られており、日程の短縮も検討していきたい。

〈飯沼委員〉

No. 7 路網と作業システムについて、手前味噌で恐縮だが森林・林業・緑化協会でも実施した同様の研修を１日で行っている。これは受講者に事前に図面と写真を配布しており、路網の提案を事前課題として設定した。おかげさまで１日のみであるが非常に濃密な研修となり、２０名を超える参加者を得た。

いろいろな工夫により短期間でも効果的な研修になりうる。

〈平子委員〉

フォレストサーベイで以前やっていた路網研修の初級を準用してやっているのか。

《事務局》

昨年度までは準用していたが、今年度からは実務の部分についてはやめている。

〈藤野座長〉

緑の雇用のフォレストリーダー研修の講師を務めているが、路網については１日半かけている。作業システムについては、どこまでやるかが問題。２箇所くらいは現場を見せたい。座学は１．５時間でのみ、現場や事業体によって条件が違うので教えようがない。

いずれ３日間は長いと思うので、スリム化を検討願う。

〈平子委員〉

資格を取る研修でなければ、短縮しても支障がないと思う。

〈藤野座長〉

No.7 の研修は、県職員も対象となっているが3名と受講者が少ない。何かのイベントと重なったのか。

《事務局》

イベント等と重なった訳ではないが、路網担当が少ないこともあり受講者が少なくなった。

〈藤野座長〉

大変重要な研修だと思うので、初任者研修に位置づけるとか、県としての研修の立て付けを検討してほしい。

〈平子委員〉

No.9 提案型集約化施業実践については、森林施業プランナーのフォローアップ研修に位置づけているようだが、これは年によって内容を交代しているのか。民間事業者はプランナーが不足しているので、フォローアップ研修でなく基礎をやっていたきたい。

〈藤野座長〉

来年は基礎研修か。

《事務局》

検討させていただきます。

〈藤野座長〉

森林施業プランナーの資格試験については、以前はある程度集中開催だったが、現在は全国各地で受験できるようになった。

〈平子委員〉

試験についての傾向と対策をやらしてもらえると良い。

〈藤野座長〉

試験対策をやるのも良いと思う。短期研修でやるのか何でやるのか、県とアカデミーで考えてやらしてもらえば良い。

〈平子委員〉

長期研修において、架線集材の講師をやっている。県の集材機（埴実習フィールドに設置）はリモコン操作のすばらしいものが入っており、あちこちで使いたい、補助金の関係もあり、殆ど使えない状況にある。どうかならないか。

できれば、林業研究センターに持ってきて、架線集材の研修で使いたい。

《事務局》

この件については、後ほど詳しく話させていただきたい。

**〈飯沼委員〉**

県の施策とアカデミーの研修の関連について、お訊きしたい。県のどこに課題があって、何を教えるのかということについて、どのように考えているのか。

**《事務局》**

福島県の森林が高齢林分になっており、この整備をいかに進めていくかというのが一番の課題と考えている。これをいかに計画的に伐って使っていくか。そのためには、林業事業体が必要であり、プランナーが必要、伐ったあとには植栽が必要ということで一連の流れがあり、主伐再生林を進める必要がある。これらに対応するために、様々な研修を実施している。

**〈飯沼委員〉**

問題意識が同じなので、安心した。福島県の皆伐については、生産性が低いのでこれを高める必要がある。

**〈藤野座長〉**

アカデミーを立ち上げる前に議論させていただいた。長期研修については、1年しかないので、大分カリキュラムを削った。一年研修しただけで、県の林業が担えるかという、そこまで大層なものではない。まずは安全にできる人材を育てるというのが主眼。研修修了生が世界伐木チャンピオンシップで入賞するなどの活躍を見ると、方向性は間違っていなかったと思う。

**議題（2）就業前長期研修修了者の就業状況**

**【事務局】**

（資料3に基づき説明）

**【委員の意見】**

**〈五十嵐委員〉**

令和4年度修了生のうち、1名離職の意向、1名就業先変更とあるが、何故かというは聞いているか。

**《事務局》**

詳細については、確認中である。

**〈須藤委員〉**

長期研修において、思い出に残るレクリエーション的な取組はあるか。

**《事務局》**

レクリエーション的な取組については、南会津林業祭に参加したり、先日の福島県林業祭については、全員が参加した。

**〈前田委員〉**

就業先は、森林組合が1/3、民間が2/3ということだが、受入れに当たって、受入側の変化はあるか。

**《事務局》**

待遇面については未確認であるが、アカデミー生が加わったことで、防護ブーツを使ってみようかとか、簡易伐倒の練習を取り入れようかとか事業体の変化をもたらしている面はあると聞いている。

**〈藤野座長〉**

受入側の委員どうですか。

**〈田子委員〉**

受入れに当たって特に変えたことはないが、たまたま賃金の見直しの時期と一致した。女性を受け入れたが、ありがたいのは「女性だからといって特別扱いしないでください」と言われたこと。男性と同じ条件で頑張ってもらっている。一年間研修を受けて来ているので覚悟が違う。

**〈平子委員〉**

受入れに当たって特に変えたことはない。楽しくやっているのではないと思う。うちは給料を現金払いしているが、若い人は戸惑うようだ。やめないで頑張ってもらいたい。

**〈藤野座長〉**

京都の林業大学校とも関わりあるが、それを見ると、5年くらい経たないと事業体は変わらない。5年10年と実績を経て、県内のアカデミー生が増えてくると雰囲気も変わるのではないか。

**議題（3）令和7年度就業前長期研修生確保に向けた取組**

**【事務局】**

（資料4に基づき説明）

**【委員の意見】**

**〈掃部委員〉**

IターンUターン者に対する働きかけは重要である。移住者にとって、住むところと仕事が最大の関心事。人と人のつながりが移住につながる。

福島にtentenという移住者の奥様のネットワークがあり、文化通りに店を出している。そこにチラシを置いてもらうのはどうか。様々なネットワークでつなぐ方法を考えるよいと思う。

**《事務局》**

配信ではお世話になっております。林業以外に対するPRも大変重要だと思う。ポスターやチラシの配布先も教えていただけるとありがたい。

**〈飯沼委員〉**

SNSについて、森林・林業・緑化協会においても、InstagramのリールやYouTubeをやろうとしている。協会のインスタリールのリンク先にアカデミーをくっつけるということも可能かと思う。お役に立てれば協力したい。

**議題（４）その他**

《事務局》

令和6年度第2回運営会議は2月開催を予定。

以 上